

旭川市と民間企業等との 連携協定について

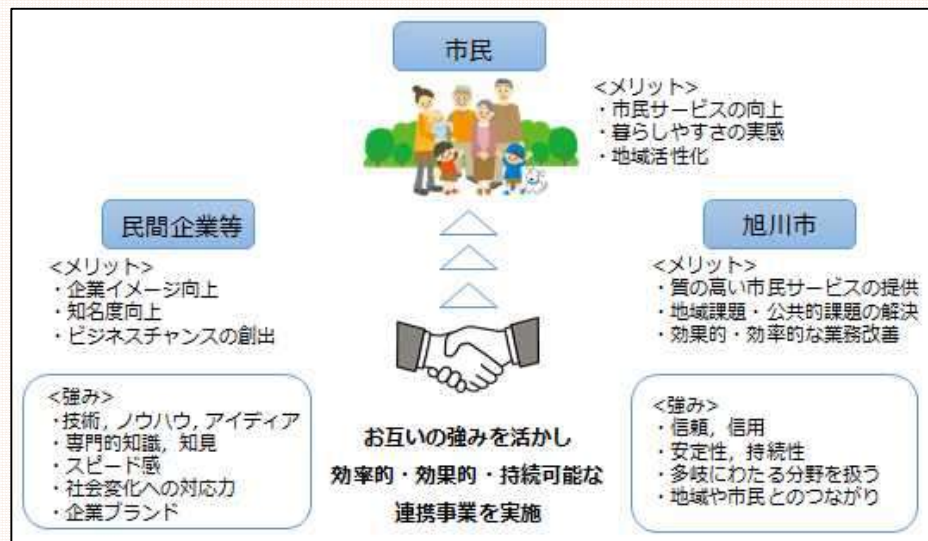
連携協定の目的とイメージ

➤ 連携の目的

本市が抱える課題の解決や、市民・市の双方にとって良い方向性のまちづくりを目指すにあたり、実行力、人員配置、企画力等を有する貴重なパートナーと協働し、共にまちを築いていく。

協働による取組を推進し、市と民間企業等が、それぞれの特性や保有する資源を複数の施策において活用することで、地域課題・公共的課題の解決、地域活性化、市民サービスの向上を図る。

➤ 連携のイメージ



連携協定の形態・締結の流れ

➤ 連携協定の形態

(1) 個別連携協定

特定の分野を対象とし、具体的な事業を行うための協定

市の窓口：担当課

(2) 包括連携協定

幅広い分野を対象とし、包括的に事業を行うための協定

市の窓口：市民生活部地域活動推進課

※主な連携分野がある場合は、その担当課になる。

➤ 包括連携協定締結の流れ

(1) 提案・確認

①企業等から市に対し、連携協定提案の申出。

②市は、提案内容の聴取・確認

(2) 連携事項の庁内調整

(3) 担当課と企業等による協議

(4) 協議結果から協定書（案）及び具体的取組事項（案）作成

(5) 協定書（案）及び取組事項（案）の内容確認・修正

(6) 連携協定の締結

旭川市と大塚製薬株式会社との包括連携協定における連携・

協力事項に基づく取組について（案） ※現在協定締結に向けて協議中

(1) 健康の維持・増進に関すること

- 教職員に対する熱中症対策アンバサダー養成講座の開催及び小中学校児童・生徒への熱中症対策の啓発
- 教育機関への熱中症対策に係る啓発資材・音源の提供
- 熱中症を普及啓発するためのポスターの作成及び関係機関への配布
- 保健師や管理栄養士に対する熱中症対策アンバサダー養成講座の開催及び市民への熱中症対策の啓発
- 健幸アプリへの支援
- 健康イベント開催に係る支援
- クーリングシェルの協力店舗・事業所拡大に向けた支援
- クーリングシェルの普及啓発に係る資材の提供

(2) 高齢者支援に関すること

- 高齢者のフレイル予防及び熱中症対策に係る啓発資材の提供
- 高齢者の健康の保持増進に係る企業ブースの出展
- 地域包括支援センター職員に対する熱中症対策アンバサダー養成講座の開催及び高齢者への熱中症対策の啓発
- 認知症サポーター養成講座の受講
- 認知症啓発に係る機材の貸与

(3) 子どもの学習支援に関すること

- 地域資源リスト（子どもたちの学びの機会を提供）への登録

(4) 食育の推進に関すること

- 食育推進に係る啓発資材の提供

(5) 災害対策に関すること

- 災害時における必要な物資等の提供
- 災害対応型自動販売機設置に係る支援
- 防災に係る啓発資材の提供
- 薬剤師に対する災害医療セミナーの開催

(6) その他、地域の活性化及び市民サービスの向上に関すること

- 継続的に有効な取組を検討・実施するための協議の実施

民間企業等との連携協定の締結状況について

※民間企業等・・・民間企業，教育機関，研究機関，公益法人，他の自治体

令和6年6月1日現在 有効な協定数 329件

(令和5年6月2日以降に締結32件)

★協定の分野について (以降)

協定の分野	件数
災害対策	136
環境	80
土木建設維持管理	72
福祉・医療・健康	68
安全・交通	50
地域活性化・まちづくり	42
教育・文化・スポーツ	39
観光・魅力発信	30
産業・商業	28
人材育成	18
子育て	12
その他	40

※1つの協定に対し、複数の分野に該当することもあるため、合計は協定数の合計329よりも多い。

● 災害対策に関するものが突出して多く、協定の相手方は、医療・建設・運輸・通信・小売業等や他自治体など、多岐にわたっている。

● 環境に関するものは、同様の内容の協定を複数の相手方と結んでいることから総数が多くなっており、自然保全や公害防止に関する協定、マイバッグ推進・レジ袋削減等に関する協定、廃棄物の処理に関する協定が多い。

● 旭山動物園が締結している協定数は18件あり、各種研究機関との研究・調査に関する協定、国内外の動物園との連携に関する協定を結んでおり、積極的に民間との協働を図っている。

【令和5年度取組実績の例】

- ・市と共催で健康増進を目的とした講座を開催
- ・デジタルサイネージで行政情報や企業広告等を放映
- ・高齢者向けスマホ教室を開催
- ・食品ロスに係る動画の制作
- ・あさひかわWAONの利用に係る寄附
- ・hareteガーデンを活用したイベントを実施
- ・駅前広場の冬季維持管理にかかる費用負担
- ・住民主体の通いの場に、リハビリ専門職や栄養士、歯科 衛生士等が訪問し、介護予防活動等の支援を実施
- ・高齢者の見守り、異変等の情報提供
- ・子育てガイドブックの発行
- ・レジ袋の有料化、マイバッグの販売
- ・ヴォレアスによる地域貢献活動に関わる支援
- ・空家合同無料相談会
- ・ロードヒーティングの稼働
- ・植栽美化活動

【旭川市行政改革推進プログラム2024】

多様な主体との連携・協働

多様化、複雑化する行政需要に対応するには、市民をはじめ企業や教育機関など、多様な主体がより広い視点で公共を担う必要があります。そのためにも、市政情報の公開と共有に努め、市政への積極的な参加を促すとともに、互いの役割と責任を認識しながら連携・協働を進める。



連携協定の締結は、相手方となる民間企業等が行政と連携・協働を進めるための1つの手法である。